

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
看護管理学特論Ⅱ(人材育成と活用)	1	後期	2	講義 30時間
担当教員	休波茂子、有家香、鶴沢淳子			
授業概要	看護組織におけるキャリア特性、人材の育成と活用、継続教育について学び、看護組織における人材育成と活用の現状と課題について考察し、さらに、人材育成計画のあり方を探究する。			
到達目標	1. キャリア特性やキャリア開発について説明できる。 2. 人材育成と関連する諸理論について説明できる。 3. 人材育成の方法としての継続教育のあり方について説明できる。 4. 人材育成に関連する研究の動向について説明できる。 5. 人材の育成と活用、その現状と課題について説明できる			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	事前課題発表	休波	
	2	看護専門職とは 専門職としてのキャリアとは	休波	
	3	キャリア理論(1)	休波	
	4	キャリア理論(2)	休波	
	5	キャリア理論(3)	休波	
	6	キャリアに関する研究の動向	有家・休波	
	7	事例検討(1): キャリア支援における課題 キャリアに関する研究疑問	有家・休波・鶴沢	
	8	人材育成と継続教育	休波	
	9	継続教育における研究の動向	有家・休波	
	10	事例検討(2) 自施設の人材育成としての継続教育の課題 (キャリア開発の視点から) 継続教育における研究疑問	有家・休波・鶴沢	
	11	人材育成と人間関係に関する理論	休波	
	12	人材育成とストレスマネジメント	鶴沢・休波	
	13	人材育成とモチベーション	鶴沢・休波	
	14	人材育成に関する研究の動向	有家・休波	
15	事例検討(3): 我が国における人材育成における課題 (キャリア開発の視点から) 各自の研究疑問	休波・有家・鶴沢		
教科書	特になし			
参考書	・E.H.Schein / 三善勝代ほか監訳(1991). キャリアダイナミック、白桃書房 ・渡辺三枝子編(2018). キャリアの心理学第2版、ナカニシヤ出版			
評価方法・基準	プレゼンテーション(30%)、討議への参加度(20%)、課題レポート(50%)の内容から総合的に評価する。			
事前・事後学習	事前学習: 各単元の事前学習を行い討議ができるようにして臨むこと。 事後学習: 各単元の終了後に学びを整理し研究的視点でまとめておくこと。			
備考	特になし			